

安曇野赤十字病院

1. 病院概要

- 院長 木下 修
- 研修実施責任者 一條 哲也
- 病床数 総数：306床（一般：306床）
- 診療科目 内科・総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科
- 研修の特徴 当院では15診療科部（下線の診療科）の中よりプログラムを用意しています。救急科ではプライマリ・ケアから重症管理まで幅広い研修ができることも大きな特徴です。
当院はNPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による第三者評価を受審し、2023年3月23日に認定を受けました。機構の定める臨床研修の認定基準を達成していることが認められています。
- 所在地 〒399-8292 長野県安曇野市豊科5685番地

2. 年間計画表

(例) 1年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(20週)				救急(8週)		外科(4週)	小児(4週)	麻酔(4週)	必修科又は選択科(12週)		

(例) 2年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	救急(8週)		小児(6週)	地域(4週)	内科(8週)		必修科又は選択科(26週)					

※ たすきがけ研修医については、信州大学の臨床研修の基本方針に従って本院での研修計画を立案します。

3. 必修科・選択科

内科	1年目または2年目に12週以上の研修を必修とする。内科・総合診療科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌科より選択する。内科・総合診療科ではブロック研修として一般外来研修を行う。
外科	1年目または2年目に、必修科期間にて4週以上を研修する。
小児科	2年目に6週の研修を必修とし、希望により4週～長野県立こども病院で総合小児科、小児集中治療科の研修も可能。ブロック研修として、一般外来研修を半日行う。1年目は希望により研修可能。
産婦人科	1年目または2年目に、必修科期間にて4週以上を研修する。 研修先は、信州大学医学部附属病院
精神科	1年目または2年目の、必修科期間にて4週以上を研修する。 研修先は、城西病院
救急研修	1年目または2年目に、8週の研修を行う。月2回程度当直を行う。
地域医療研修	2年目に4週の研修を行う。地域医療研修先である診療所等の研修を必修とする。（一般外来研修含む） 地域医療研修先病院：市立大町総合病院、松本市立病院 療養病棟・訪問診療：穂高病院

一般外来 研修	2年目に内科・総合診療科および小児科のブロック研修として行う。 小児科・地域医療研修・その他内科系診療科の研修中に並行研修として行う。 1年目は基本的に研修不可であるが、指導医の判断により後期に行うことも可能。
麻酔科	本院での麻酔科研修の受け入れはその都度調整となります。 信州大学医学部医学教育研修センターと相談しながらスケジュールを調整します。
選択科	内科・総合診療科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、救急科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科より選択可能。

4. 処遇

身分	常勤嘱託職員
勤務時間	8：30～17：00(7時間45分勤務) 週5日勤務、年次有給休暇(1年次：10日、2年次：11日)、夏期休暇、年末年始休暇(12/29～1/3)、創立記念日休暇(5/1) 当直あり(17:00～翌8:30 休憩：90分 1勤務分時間外勤務扱い・1勤務分振替休日扱い 救急科研修中に月2回程度) 半直あり(17:00～23:00 時間外勤務扱い 他診療科研修中 月2～3回程度)
給与	月額 1年次 300,300円/月(基本給) 2年次 314,100円/月(基本給) 賞与、医師確保手当、時間外手当、住居手当、通勤手当、扶養手当等を含めた見込み額 1年次 6,200,000円/年 2年次 6,800,000円/年
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
健康管理	健康診断：1年1回 インフルエンザ予防接種あり
医師賠償責任保険	病院加入：なし 個人加入：任意(基本的には加入していただき、手続きは当院で代行いたします)
外部の研修活動	学会、研究会等の参加：可 学会、研究会等の参加のための旅費支給：有(年1回) ※学会発表の際には別途支給
宿舎	宿舎はありません。 住宅手当の補助(上限28,500円/月)があります。